

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	みはら歴史博物館学芸系事業				シート番号	008-067
担当部署名	文化観光	局	博物館	部	学芸	課 評価責任者(課長名) 増田

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	2	誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	歴史文化を活かしたまちづくりの推進	無
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市立みはら歴史博物館条例			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成15年3月、美原町立の施設として開館。平成17年2月の堺市との合併以後、美原地域の歴史文化を中心とした展示事業等を行ってきたが、同館の指定管理者制度導入を前に特別展の開催を取りやめ、みはら歴史博物館学芸系事業として、みはら歴史博物館展示事業を継承することとした。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (みはら歴史博物館) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び文化・歴史などに興味・関心のある人々				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	市民とりわけ子どもたちが美原地域を中心とした歴史文化について親しみ理解を深め、郷土への愛着を育むことに寄与する。さらに、地域の誇る歴史文化の発信拠点として、「堺」の都市魅力の向上にも貢献する。また、近隣の黒姫山古墳から出土した古墳時代の甲冑(市指定有形文化財)を修復・保存・展示を行い、郷土の貴重な文化財として後世に伝えていく。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	「黒姫山古墳」「河内鑄物師」を主要テーマとする常設展を中心とした郷土の歴史文化を紹介する。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
		委託事務の受注者					

Ⅲ. 投入量

項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
11 事業費 (a)	千円	0	0	2,698	1,913	2,425	1,992	1,620
主な事業費内訳								
委託料	千円			2,573	1,866	2,300	1,962	1,620
役務費	千円			20	0	20	0	0
需用費	千円			50	33	50	29	0
財源内訳								
国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円			0	2	0	0	
市債	千円							
その他(土地建物貸付収入・物品売払収入)	千円			1,131	1,057	981	991	1,620
一般財源	千円			1,567	854	1,444	1,001	0
12 人件費 (b)	千円		0	2,460	2,460	2,430	2,430	2,460
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	0	5,158	4,373	4,855	4,422	4,080

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	みはら歴史博物館学芸系事業	シート番号	008-067
-------	---------------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	○資料燻蒸業務 ○黒姫山古墳出土資料の修復保存業務 ○常設展示展示替					
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標値	3,000	4,000	2,000
				実績値	4,424	4,103	
				達成率	147%	103%	
				評価	大変良い	良い	
			算出方法・設定根拠など	展示場への入館者数。令和2年度はコロナ禍により目標値を下げる。			
	16	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標値			
				実績値			
			達成率				
			評価				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	入館者数(展示室内)	人			4,103
	②	上記①にかかる年間経費	千円			4,422
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			989
	備考(算出についての説明等)					
18			区分	単位	平成29年度	平成30年度
	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
備考(算出についての説明等)						

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	計画した業務は無事に終了した。

- 【分析のチェックポイント】**
- 事業の達成度はどうでしたか。
 - 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
 - 資源投入は適切でしたか。
 - 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
 - 有効性は高いですか。低いですか。
 - 効率性は向上していますか。
 - RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
 - ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	みはら歴史博物館学芸系事業	シート番号	008-067
-------	---------------	-------	---------

≪ V. 点検 ≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○ 上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 美原地域の歴史文化を中心とした展示事業等を行っており、必要不可欠な事業であるが、令和2年度から指定管理者制度を導入したため、当該事業は他の事業との整理・統合による見直しを行う。	
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 本事業は黒姫山古墳出土資料修復業務と資料燻蒸業務で、毎年計画的に実施するもので、休止することは困難である。	休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 黒姫山古墳出土資料は将来的に重要文化財に指定されるような重要な資料である。当該事業は、これらの資料の修復及び燻蒸業務のみで、必要最低限でのコストとなっており、縮減することは難しい。	
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 事業の内容は、この視点からは改善する必要がないと考えられる。	
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input checked="" type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明	本事業は黒姫山古墳出土資料修復業務と資料燻蒸業務という、学術的な専門性の高い業務であり、指定管理者も含めて外部に業務を一任できない。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降		
		所見	令和2年4月からの指定管理者制度の導入に伴い、令和3年度からは当該事業を学芸部門の「資料収集保存事業」に統合して、堺市博物館が所蔵する同様の資料とともに、適正な資料の保存管理に努める。		